

11月 冬のあったか縁日特集号

まちづくり通信

発行 飛騨高山まちづくり本舗
住所 〒506-0845
高山市上二之町 44-4
電話&FAX 0577-33-5282
homp@takayamashishouren.net

YY 掲示板 ネット討論など ドリーミンオフィシャルサイト ★<http://www.takayamashishouren.net/d/>

会えるといいね、君の笑顔に
あなたの真剣なまなざしに 「冬のあったか縁日」!!

日 時：(1日目) 平成18年12月 9日 (土) 午後 1時~午後5時
(2日目) 平成18年12月10日 (日) 午前10時~午後4時
会 場：高山市役所市民ホール、市民ロビー、保健センター、会議室等

明日につながる、ひとつつながる縁日をめざして、子育て・まち育て10周年記念

平成9年7月7日に開催された延藤安弘さんの「まちづくり幻燈会」。それから今年ちょうど10年目。活動からおよそ10年、そんなNPO団体がいくつかあります。「ソムニード」、「あんきや」、「童心」、「劇団くるりんぱ」など、他にもあります。そして「こどもまちづくりコンクール」も今年節目の第10回でした。この10年余り、市民によるまちづくりは、紆余曲折はありましたが目覚ましい成長をとげました。

そのひとつ、つながりのある活動はさまざまなフォーラムを積み重ね、高山の市民活動の日常的な姿として定着しました。そして、今回、子育て・まち育てをテーマに30を超えるさまざまな子育て支援団体と厚生労働省、財団法人こども未来財団、財団法人児童健全育成推進財団、高山市、高山市社会福祉協議会が協働して、市民・民間・行政がともに子育てを応援しようと、市役所まるごと子育てにやさしい空間が展開されます。(詳しくは「冬のあったか縁日」チラシをご覧ください)

飛騨高山まちづくり本舗&高山市企画ご紹介

『高山の子育て・まち育て~これまでの10年 これからの10年~』

日 時：平成18年12月10日 (日) 午後1時~午後3時30分
会 場：高山市役所 市民ホール

【第1部】「子育て・まち育て幻燈会」 講演 延藤 安弘さん

市民参加のまちづくりから10年、その間、延藤さんは50回余り高山を訪れ、高山における子育て、まち育ての姿はつづさに記憶されてきました。過去と現在、そしてこれからめざすべき未来を考える記念講演!!

“これまでの10年を振り返ります”

【第2部】「子育て・まち育てパネルディスカッション」

市民・民間・行政協働の子育て・まち育て “これからの10年のめざす姿”

市民・民間・行政さまざまな視点から、高山はこれからどのような子育て社会を目指すのか5人のパネラーによる討論。

(パネラー)

- 日本の子育て支援トップランナーの視点から
奥山千鶴子さん (NPO法人びーのびーの代表)
(内閣府少子化対策推進会議委員)
- 民間、団体の視点から
清水 篤さん (高山市PTA連合会会長)
(アブデザイン代表取締役)
- 行政の視点から
岡本 英一さん (高山市福祉保健部長)

- 若者の視点から
荒瀬奈穂子さん (大道芸人 芸名：桜子)
(福祉大学~日本アマ優勝大道芸人の青春)
- 市民、子育てサークルの視点から
菘谷 清美さん (子を持つ親として)
(各種子育てサークルに所属)
- コーディネーター
延藤 安弘さん (愛知産業大学大学院教授)
(NPO法人まちの縁側育み隊代表理事)

きっとこのまちに住む誇りと希望が見出せる

まちなか活性化

これからやるべきことが見えてきた!?

藻谷浩介氏講演「高山市のまちなか活性化のポイント」より

市商連の女性部、青年部の研修会として日本政策投資銀行地域企画部参事の藻谷浩介さんの講演会があり、深刻な問題となっている日本の状況と高山の課題について耳を傾けました。この不況の中、人口が減っているのに店が増え、売りあげは減少、雇用も冷え込んでいる現状をどうしたらいいのか?



純粋地産品売る小さな店を増やす...かあ

まち=「花」

「根」=人が住む家がまちなかにあり、
「葉」=働く事業所があり、
「茎」=学校や病院や役所などの公的機関があり、
「花」=買い物するお店がある

- 根・茎なくして花さかず(造花のみ)
- 公共(茎)と商業(花)だけの切花ははかない
- 道路や駐車場は「用水路」。いくら整備してもそれだけでは何も生まれない

「団塊の世代の退職は、高齢化社会に拍車をかけることになるが、元気でお金をもった高齢者が増えることにもなる。このマーケットをどのように取り込むかが大切である。今の市街地はつまらなくなっているし、つまらない大型店も



増えすぎている。高山も現状に甘んずることなく60~70才代の人々が喜んで、お金をつかうまちづくりに取り組む必要がある。歴史のある街らしく、もっと景観に気を使い(郊外の看板などにも)ホスピタリティのグレードアップなど、日本国内だけでなく世界に通用する高山に。高山でしか買えないもの、地元の産物に徹底した付加価値をつける、ちいさなつまかさねが大切。空き家をなくし、人を住まわせる。空き店舗は賃料を安くして、良いテナントに入ってもらおうなどの努力も必要であるということ。課題は山積みだが大きなヒントが与えられた、とのことでした。

市民活動と商店街がりんくろりんイベントで身近な高山ですが商店街・地権者だからできることが再生の鍵だということです。

にぎわい

冬の風物詩二十四日市

繕って使う飛騨の生活文化



「こわれたらもっておいで」と一言そえるしょうけ売りのおじさん。棒の先に刃物のついで道具を持ち歩く姿に声をかけてみれば、「鍛冶屋修理してもらってきた」とのこと。今年の二十四日で出会えた掘り出し物のことばたち。

来年の二十四日市は水曜日。どんなりんくろりん(協働)で出会いを演出しましょ?

伝えたい協子さん その②
どのようなことを対象にしたらいいのですか

「飛騨高山まちづくり本舗」はどんな活動をしているの?よく聞く質問です。その答えとして、2004年3月にまとめた冊子からひとつの**まちづくりのめざす姿**をシリーズでご紹介します。

★『ひと』(づくり)と『場所』(づくり) さらに『しくみ』(づくり)

[まちづくりの対象]

- ・幸せの価値観はすべてのひとが違います。満たされる目標もすべてのひとが違います。だからこそ、ひとりひとりの権利や尊厳を大切にしたいと思います。
- ・ひとは必ずどこかで暮らし、誰かと支えあうなかで暮らしています。だからこそ、その場所その場所に応じた地域で支えあう姿を大切にしたいと思います。
- ・ひとりの悩みや不安、課題が軽減されるとしたら、ひとりでも多くのひとに伝えたい。だからこそ、問題提起に留まらずしくみづくりに取り組むことが大切だと考えます。

そのために・・・

- ひとの成長がまちづくりの成長と認識し、いろいろな価値観とさまざまな立場にあるひとたちが、無理なくそのひとらしさを発揮できる場面を少しでも増やしたい。
- 街には街の、田舎には田舎の、自然には自然のよさがあり、その本来の姿を失わないよう地域らしさに出会える場所と再認識できる場面を少しでも増やしたい。
- 構想~計画から実践~反省にできるだけ多くのひとが関わられるようにしたい。そして、持続可能なための制度づくりを意識した取り組みにしたい。

YOU&ME (ゆめ) サロンばれっと インフォメーション

★男女共同参画会をテーマに 市民と行政の協働で運営する 「ばれっとからのお知らせ」

提供:ばれっと倶楽部
問合せ:0577-35-3134
市役所企画課
会場:女性青少年会館
0577-32-0394

YOU&MEサロン「ばれっと」に参加しませんか

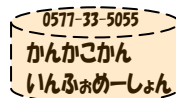
毎月第2・第4木曜日 1時半~4時

わたしの居場所 ~ 困っていることな一い?

講師:子育てほっとライン・マミー 金山まゆみさん
子育て支援センター長 種倉富美子さん

集い 「ツインズ・デー」 が開催されました

かんかこかんこどもひろばの呼びかけで、2つ子、3つ子以上の子どもさんをお持ちの家族の集いが、11月、12月と2回開催され、一組の親子と先輩ママさんが参加されました。気軽に同じような家族同士が交流し、先輩ママの話が聞ける場が活用され、こどもたちも親同士も地域でつながっていただけたいですね。



こどもひろば・情報ひろば・まちづくりひろば
まちひとぶら座かんかこかん
開館時間 10時~5時



クリスマスリース作り

シーズン恒例。木の実やドライフラワーなど素材を取り揃えています。いつでも作れます。無料。

クラフト工房

◆トートバック、エプロン、グラスアート、ビーズ編みストラップ
ちっちゃなプレゼントとして好評販売中!

金曜野菜市 11時~

無農薬栽培の旬の野菜販売市、冬野菜は寒さに負けず元気です。22日以降は、豆などの乾物常設。

コピーサービスもご利用下さい。
かんたんな事務作業もできます。

ミニギャラリー12月

版画
版画:松見ひろ子さん
日本画(入れ替え有)
山口栄一郎さん